

# 編 集 後 記

昨年2月初め、大学入学試験の直前に奥様から「私も歳を取ってきて、先のことは分からない。召天10周年記念会を機会にお世話になった方々に是非お礼がしたい、その時に手作りの記念品と記念誌を添えたい」と強くその想いを述べられました。それから一年、不忠者の私は具体的な取り組みを怠り、今年の2月に再度奥様からお電話を戴き、あわてて若駒会事務局（学院事務局在職OB）による企画・編集委員会を発足させる始末でした。

学長の村上先生、神戸大学院時代のご学友である河合先生、硬式野球部OBの松尾、藤村両大先輩からは、高田先生の青春の日々、先生の笑顔が目浮かぶようなお話をご披露いただきました。若駒会第2代会長の柴田先輩からは、先生との出会いや高田ゼミ入会の意外な顛末、澤村氏、伊藤先生、磯俣氏からは、会計士（会計学）のフィールドでいまなお先生と触れ合っておられること、元大洋ホエールズの門田氏、同西武ライオンズの蓬萊氏からは、先生が熱き情熱と惜しめない支援を注がれた母校野球部のこと、寺崎氏、山口氏からは先生晩年のご様子を生き生きと述べていただきました。若駒会会員にとっても初めて耳にすることも多く、恩師の偉大さと恩師を囲まれたすばらしい人々の存在を改めて教えていただきました。そして高田駒次郎先生は大変大変「幸せ者」であった（ある）と思いました。それから、最後の最後に急きょ原稿と写真をお願いした宮原先生には、高田先生との秘話をたった1日でまとめていただきました。

ご寄稿いただきました皆様には厚くお礼申し上げますとともに、お願いの経緯や連絡その他不手際が多かったことをお詫びいたします。

もっと多くの方々に「先生の思い出」をご依頼できていれば、おそらく百科事典のような記念誌になったのではないかと、取り組みへの力不足を痛感いたしております。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった高田吟子様を始め関係各位の皆様のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

編集委員長 小林 明 人

---

## 高 田 駒 次 郎 先 生 召 天 10 周 年 記 念 誌

平成14年9月18日

|       |                                                                       |
|-------|-----------------------------------------------------------------------|
| 発 行   | 西南学院大学若駒会<br>福岡市早良区西新6丁目2-92<br>西南学院大学内                               |
| 企画・編集 | 高田駒次郎先生召天10周年記念誌編集委員会                                                 |
| 印 刷   | 株式会社 津村愛文堂<br>福岡市早良区室見2丁目16-8<br>TEL 092-821-0173<br>FAX 092-831-3329 |

---